

黙示録 15 章 1 節ー16 章 4 節 スタディーガイド

★ 黙示録 15 章 1 節

また私は、天にもう一つの巨大な驚くべきしるしを見た。七人の御使いが、最後の七つの災害を携えていた。神の激しい怒りはここに窮まるのである。

神様の激しい御怒りである災いが始まります。

★ 黙示録 15 章 2 節ー4 節

私は、火の混じった、ガラスの海のようなものを見た。獣と、その像と、その名を示す数字とに打ち勝った人々が、神の立琴を手にして、このガラスの海のほとりに立っていた。彼らは、神のしもべモーセの歌と小羊の歌とを歌って言った。「あなたのみわざは偉大であり、驚くべきものです。主よ。万物の支配者である神よ。あなたの道は正しく、真実です。もろもろの民の王よ。主よ。だれかあなたを恐れず、御名をほめたたえない者があるのでしょうか。ただあなただけが、聖なる方です。すべての国々の民は来て、あなたの御前にひれ伏します。あなたの正しいさばきが、明らかにされたからです。」

2 節「私は、火の混じった、ガラスの海のようなものを見た。獣と、その像と、その名を示す数字とに打ち勝った人々が、神の立琴を手にして、このガラスの海のほとりに立っていた。」

殉教した聖徒たちが、天の海のほとりで賛美しています。

3 節「彼らは、神のしもべモーセの歌と小羊の歌とを歌って言った。」

モーセの歌は、出エジプト記 15 章 1 節から 18 節と、申命記 32 章 1 節から 43 節に記されています。

イスラエルの民を苦しめたエジプトに災難を注ぎ、イスラエルの民を奴隷から解放された正しい審判者である神様の御業をほめたたえているのが、モーセの賛美です。

人々を、罪の奴隷から解放させる時が来たので、モーセの賛美が最も適しているのです。

3 節、4 節「あなたのみわざは偉大であり、驚くべきものです。主よ。万物の支配者である神よ。あなたの道は正しく、真実です。もろもろの民の王よ。主よ。だれかあなたを恐れ

ず、御名をほめたたえない者があるでしょうか。ただあなただけが、聖なる方です。」

この小羊の歌は、聖書の中で最も素晴らしい信仰が表現されている歌です。

主は罰すべき者を必ず罰すると約束され、それを実行され、罪と死から勝利された聖なる方です。

4 節「すべての国々の民は来て、あなたの御前にひれ伏します。あなたの正しいさばきが、明らかにされたからです。」

このみことばを、パウロがピリピ人への手紙 2 章 10 節から 11 節で預言的に語っています。「イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるものすべてが、ひざをかがめ、すべての口が、『イエス・キリストは主である』と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。」

これは近い将来、神の御国で実現します。

★ 黙示録 15 章 5 節—8 節

その後、また私は見た。天にある、あかしの幕屋の聖所が開いた。そしてその聖所から、七つの災害を携えた七人の御使いが出て来た。彼らは、きよい光り輝く亜麻布を着て、胸には金の帯を締めていた。また、四つの生き物の一つが、永遠に生きておられる神の御怒りの満ちた七つの金の鉢を、七人の御使いに渡した。聖所は神の栄光と神の大能から立ち上る煙で満たされ、七人の御使いたちの七つの災害が終わるまでは、だれもその聖所に、入ることができなかった。

5 節「その後、また私は見た。天にある、あかしの幕屋の聖所が開いた。」

この幕屋が、神様のご臨在なさる本物の幕屋です。モーセの幕屋はこの幕屋のひな型です。

ヨハネが黙示録 11 章 19 節で「天にある、神の神殿が開かれた。神殿の中に、契約の箱が見えた。」と言っていた所と同じ所です。

15 章 6 節「その聖所から、七つの災害を携えた七人の御使いが出て来た。」

御怒りが最も激しく注がれる災難です。

6 節「彼らは、きよい光り輝く亜麻布を着て、胸には金の帯を締めていた。」

彼らの姿は、大祭司の姿です。モーセの幕屋では、神様のご臨在の前に立てるのは、一人の大祭司だけでした。

天の幕屋では、大祭司はイエス様お一人ですが、大祭司のような役割をする御使いが大勢います。なぜなら、天に住むものは皆、神様のご臨在のそばで仕えているからです。

7 節「また、四つの生き物の一つが、永遠に生きておられる神の御怒りの満ちた七つの金の鉢を、七人の御使いに渡した。」

この 7 人は、第 3 の災いである 7 つの鉢の災難を地に注ぐ、重要な役割を受けている御使いたちです。この災難が終わると、ご再臨です。

8 節「聖所は神の栄光と神の大能から立ち上る煙で満たされ、七人の御使いたちの七つの災害が終わるまでは、だれもその聖所に、入ることができなかった。」

聖所が、神様の栄光であるシャカイナグローリーで満ちています。

私たちは、愛に満ちているシャカイナグローリーを知っていますが、御怒りのシャカイナグローリーは知りません。恐らく、大変恐ろしいご臨在であると思われま

最後の3年半は、誰も神様の臨在される聖所に近付くことができません。神様の御怒りに触れないためでしょう。



黙示録 16 章 1 節－2 節

また、私は、大きな声が聖所から出て、七人の御使いに言うのを聞いた。「行って、神の激しい怒りの七つの鉢を、地に向けてぶちまけよ。」そこで、第一の御使いが出て行き、鉢を地に向けてぶちまけた。すると、獣の刻印を受けている人々と、獣の像を拝む人々に、ひどい悪性のはれものができた。

1 節「大きな声が聖所から出て、七人の御使いに言うのを聞いた。『行って、神の激しい怒りの七つの鉢を、地に向けてぶちまけよ。』」

7つの鉢の災難を開始する命令が、神様から出ました。

2 節「そこで、第一の御使いが出て行き、鉢を地に向けてぶちまけた。すると、獣の刻印を受けている人々と、獣の像を拝む人々に、ひどい悪性のはれものができた。」

最後の災難が始まりました。

黙示録 8 章 13 節で「一羽の鷲が中天を飛びながら、大声で言うのを聞いた。『わざわいが来る。わざわいが来る。地に住む人々に。あと三人の御使いがラッパを吹き鳴らそうとしている。』」と記されていました。

3つの災いが、第5、第6、そして第7のラッパです。

最後の第7のラッパが、第3の災いである7つの鉢の災難です。

獣の刻印を受けている人々にできている腫れ物は、獣の刻印を受けた額と右手にできていると考えられます。



黙示録 16 章 3 節

第二の御使いが鉢を海にぶちまけた。すると、海は死者の血のような血になった。海の中のいのちのあるものは、みな死んだ。

黙示録 8 章 8 節から 9 節の第2のラッパの災難で「火の燃えている大きな山のようなものが、海に投げ込まれた。そして海の三分の一が血となった。すると、海の中にいた、いのちのあるものの三分の一が死に、舟の三分の一も打ちこわされた」と書かれており、3分の1の海はすでに死んだ状態になっていました。

今回は「海の中のいのちのあるものは、みな死んだ」という恐ろしい出来事です。出エジプト記では、イスラエルの民を解放しないエジプトに10の災難がもたらされましたが、最初の災難でナイル川が血になりました。この災難は、エジプトにとって大変なことでした。しかし彼らはイスラエルの民を解放しませんでした。

今回は、海の幸をあてにして生活している人々が餓死する結果になります。それでも人々は悔い改めません。

★ 黙示録 16 章 4 節

第三の御使いが鉢を川と水の源とにぶちまけた。すると、それらは血になった。

海の中の命あるものが死んでしまったすぐ後に、清水の源、飲み水が血になっています。これが神罰であることを、分からないはずがないと思います。それでも、聖徒たちを苦しめ、殉教させることを止めないでしょう。

これ以降、残っているペットボトルやタンクの中にある水以外に、飲める水はありません。犯罪がはびこり、食料不足と水不足で強い者しか生き残れない時代になります。

◆MEMO◆



OMEGA MINISTRIES
OMEGA BIBLE STUDY